

R6 浜松市立神久呂中学校 評価シート

P(計画)

D(実施)

C(評価)

A(改善)

説明責任

自己評価

【生徒・保護者・地域の状況】

項目	優れている点	伸ばしたい点
学習指導について	・「授業が分かる」と回答する生徒が多く、学習への関心・意欲が高い。 ・宿題は確実にやり遂げる。	・学習内容を定着させるための自主的な家庭学習の習慣を身に付けさせていく。 ・指導者の一人一人の課題に応じたよりよい授業展開の方法を研修していく。
生徒理解について	・思いやりがあり、素直で、前向きに努力できる生徒が多い。 ・「学校が楽しい」と答える生徒の比率が高い。	・心をつなぐ学級学年経営及び生徒指導を実践し、一人一人の生徒を大切にす。そして、生徒にとって安全・安心で居場所のある学校づくりを推進していく。
地域保護者連携について	・PTAや健全育成会の組織がしっかりしており、学校に協力的である。	・ブログやさくら連絡網等で情報公開し、学校の様子を伝えることにより、関係者の協力を仰ぎ、開かれた教育課程の構築を目指す。

【達成目標】

- R6全国学力・学習状況調査において、正答率の平均が市、県、全国以上。
- R6全国学力・学習状況調査における生徒質問紙の生徒理解項目の向上。
- 学校生活アンケート(生徒版・保護者版)における意識調査のポイント**90%以上**。

【キャリア教育で育てたい四つの力を向上させるための取組】

- 〔つながる力〕〔見つめる力〕〔追究する力〕〔見通す力〕
- 主体的・対話的で深い学びを目指した授業を目指す。
 - ・基礎基本を押さえた確かな学力の育成
 - ・人・もの・こととの対話を大切にした授業の実践
 - ・協働的な学びを意識したICT機器の活用
 - ・探究と横断的な学びを中心とした総合的な学習の時間
 - 生徒一人一人とつながり、寄り添った指導による生徒理解を行う。
 - ・誰もが安心して自信と誇りをもてる学校づくり
 - ・さわやかなあいさつの実践
 - ・自他のよさに気づき、共に高め合う集団づくりをする行事の実施
 - ・思いやりや人間愛を大切にした道徳教育における心の耕し
 - 保護者・地域とのつながりを大切にする。
 - ・地域ボランティア活動や地域防災活動の推進
 - ・夢や希望をはぐむ進路学習

学習指導

【R6全国学力・学習状況調査、授業アンケートより】

- 国語 62.0%(市:60 県:59 全国:58.1)
- 数学 56.0%(市:56 県:55 全国:52.5)

(生徒)

- 授業は分かりやすい 95%
- 授業では仲間の意見を聞いて、理解を深めることができた 96%

生徒理解

【R6全国学力・学習状況調査、学校評価アンケートより】

- 自分には、よいところがあると思う 85.0%(県:84.6 全国:83.3)
- 将来の夢や目標をもっている 66.0%(県:66.9 全国:66.3)

(生徒)

- 学校や学級では互いを思いやり、認め合って生活している 95%

地域保護者

【R6学校評価アンケートより】

(生徒)

- 地域行事に参加している 51%

(保護者)

- 学校は便りやホームページ、ブログ等で情報をよく発信している 78%

学校関係者評価

<学校運営協議会委員より>

- アンケート結果より学校が楽しく学べる場となっていることが分かった。子どもたちにとって、学校が楽しい場所であるということは素晴らしいことだと思う。今後もいじめ0を目指したい。
- 明るいあいさつができる礼儀正しい生徒が多い。
- 保幼小中の一貫教育の地域だからこそ、子供同士の関係性や地域との関わり合いができています。
- 地域から学校へのつながりがまだしっかりできていないので、地域の活動に参加できない子供がいるのではないかと。地域と学校の連携がこれからの課題だ。

【改善策】

- 全国学調はどちらの教科も市、県、全国以上だった。「主体的・対話的で深い学び」を意識してさらに授業改善を進めていく。
- 授業が分かりやすいという生徒の割合は95%が肯定的であった。協働的な学びを意識したICT研修の継続、個別最適な学びの追究をしていきたい。
- 授業への取組も大変前向きで、学年が上がるごとに良好な結果になっており、成長している。

【改善策】

- 自分にはよいところがあるという自尊感情が高かった。一方で、将来の夢や希望を描いている生徒の割合はまだ高いとはいえない。今後も、学校教育活動全体でキャリア教育を推進し、学びを自分の人生や社会に生かしていこうとする力、自分のよさや自分らしい生き方を学ぶ力を更に伸ばしていきたい。

【改善策】

- 1年の地域学習、2年の職業学習、3年のSDGs学習、あるいは教科で、地域の方を講師としてお招きし、昨年度よりも多くの保護者・地域の方に協力いただいている。今後も、情報発信に力を入れて家庭・地域と連携し、地域に根ざした学校づくりを目指していきたい。

改善策

- 生徒一人一人に対して教員が丁寧に関わり、生徒理解を基本とした指導に努める。すべての生徒にとって「いじめのない学校」を目指す。
- 主体的・対話的で深い学びに向けた授業改善についての職員研修が効果をあげている。今後も、分かりやすい授業の実践に努める。
- ブログやさくら連絡網で積極的に情報を公開し、家庭・地域の協力をいただき、コミュニティスクールを継続発展させていく。それとともに、学校・家庭から生徒が地域の活動へ参加できる道筋をつくっていく。